

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	キャリアデザイン1
<b>科目基礎情報</b>				
開設学科	ロボット科	コース名		開設期 通年
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	品質管理検定（QC検定）4級の手引き、日本規格協会			
<b>担当教員情報</b>				
担当教員	石川	実務経験の有無・職種	無	
<b>学習目的</b>				
<p>組織の中で仕事をするにあたって求められる品質管理の基本を含め、企業活動の基本常識を理解し、製品やサービスを提供する企業の品質への取り組み、改善活動を理解し、これまで体験してきたユーザー目線で製品やサービスを捉えるのではなく、サプライヤー目線で品質管理の考え方を意識できるようになる。日々生じる問題をQCの問題解決法により解決できるようになるのがねらいである。</p>				
<b>到達目標</b>				
<p>学生が、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、品質管理の重要性を理解することなどができるようになることを目標にしており、併せて日本規格協会が実施する品質管理検定試験の合格によるキャリアアップ実現を目標としている。</p>				
<b>教育方法等</b>				
授業概要	<p>社会人として知っておくべき仕事の進め方や品質管理に関する用語、企業活動の基本常識を理解し、これを日々の学習や生活の中に取り入れ、実践していく事を目指し授業を進める。この授業で学ぶ、PDCAや報告・連絡・相談（ほうれんそう）、改善活動、5W1Hなど、日々の学習や報告書作成にも役立てていただきたい。安全衛生（ヒヤリハット、KY活動）の知識は、ものづくりの実技科目履修の際に特に意識して取り組んで欲しい。QCの問題解決手法を自分自身のキャリアデザインに活用できるようになることを目指す。</p>			
注意点	<p>キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、社会の動きや個別企業の状況などを概説するので、日々、社会の情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。</p>			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
<b>授業計画（1回～15回）</b>				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	オリエンテーション	この科目の位置づけ、学習内容、到達目標を理解する		
2回	企業活動の基本（1）	製品とサービス、職場における総合的な品質を理解する		
3回	企業活動の基本（2）	報告・連絡・相談、5W1Hの重要性を理解する		
4回	企業活動の基本（3）	企業生活のマナー、規則と標準（就業規則を含む）および安全衛生の意識を養う		
5回	企業活動の基本（4）	三現主義、5ゲン主義、5Sを理解する		
6回	品質管理の実践（1）	品質とその重要性、品質管理の考え方を養う		
7回	品質管理の実践（2）	お客様満足、苦情、クレームおよび問題と課題を理解する		
8回	品質管理の実践（3）	管理活動、仕事の進め方（PDCA）を理解する		
9回	品質管理の実践（4）	改善、QCストーリー、3ム、小集団活動と重点思考を理解する		
10回	品質管理の実践（5）	前工程と後工程、工程の5Mと異常について理解する		
11回	品質管理の実践（6）	適合、不適合と検査の種類、ロットの合格・不合格を理解する		
12回	品質管理の実践（7）	標準化、業務に関する標準、品物に関する標準を理解する		
13回	品質管理の手法	データ種類、データの取り方、まとめ方を理解する		
14回	品質管理の手法	QC7つ道具を理解し、活用できるようになる		
15回	まとめ	全体のまとめ		